

1. Ishida-Yamamoto A, Kishibe M, Takahashi H, Iizuka H. Rab11 is associated with epidermal lamellar granules. **J Invest Dermatol.** 127(9):2166-70, 2007
2. Magnúsdóttir E, Kalachikov S, Mizukoshi K, Savitsky D, Ishida-Yamamoto A, Panteleyev AA, Calame K. Epidermal terminal differentiation depends on B lymphocyte-induced maturation protein-1. **Proc Natl Acad Sci USA.** 104(38):14988-93, 2007
3. Zeeuwen PL, Ishida-Yamamoto A, van Vlijmen-Willems IM, Cheng T, Bergers M, Iizuka H, Schalkwijk J. Colocalization of cystatin M/E and cathepsin V in lamellar granules and corneodesmosomes suggests a functional role in epidermal differentiation. **J Invest Dermatol.** 127(1):120-8, 2007
4. Basel-Vanagaite L, Attia R, Ishida-Yamamoto A, Rainshtein L, Ben Amitai D, Lurie R, Pasmanik-Chor M, Indelman M, Zvulunov A, Saban S, Magal N, Sprecher E, Shohat M. Autosomal recessive ichthyosis with hypotrichosis caused by a mutation in ST14, encoding type II transmembrane serine protease matriptase. **Am J Hum Genet.** 80(3):467-77, 2007

日本語論文

- (ア) 山本明美：免疫組織染色・蛍光抗体法所見の読み方 **Visual Dermatology:** 6(8), 834-839, 2007
- (イ) 山本明美：Cornified cell envelope **日本皮膚科学会雑誌**：117:137-141, 2007

日本語著書

1. 山本明美：毛孔性苔癬、顔面毛包性紅斑黒皮症。皮膚疾患最新の治療 2007-2008。瀧川雅浩、渡辺晋一編集 南江堂、東京、pp.138, 2007
2. 学会発表
 1. 山本明美：層板顆粒の輸送と角化症。第71回日本皮膚科学会東部支部学術退会、シンポジウム4 角化症と皮膚バリア障害。2007, 9, 22-23、札幌市
 2. Akemi Ishida-Yamamoto Distinct intracellular transport of different epidermal lamellar body molecules **Fist World Conference on Ichthyosis.** 2007. 8. 31-2007. 9. 2, Münster, Germany
 3. 山本明美：正常ヒト表皮における Rab 11 の発現と層板顆粒との関連。第22回角化症研究会。2007.8.4、東京都
 4. Ishida-Yamamoto A, Kaneta K, Kishibe M, Iizuka H A recycling endosome marker Rab11 is associated with epidermal lamellar granules. 34th annual meeting of the Society for Cutaneous Ultrastructure Research 2007, 6, 14-16, Praha, Czech Republic
 5. 山本明美：分子と形態から解明する新しい角化異常症。第26回分子病理学研究会湘南シンポジウム、特別講演 2007, 6, 8-9、葉山町湘南国際村

H. 知的所有権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得
特になし
2. 実用新案登録
特になし
3. その他
特になし

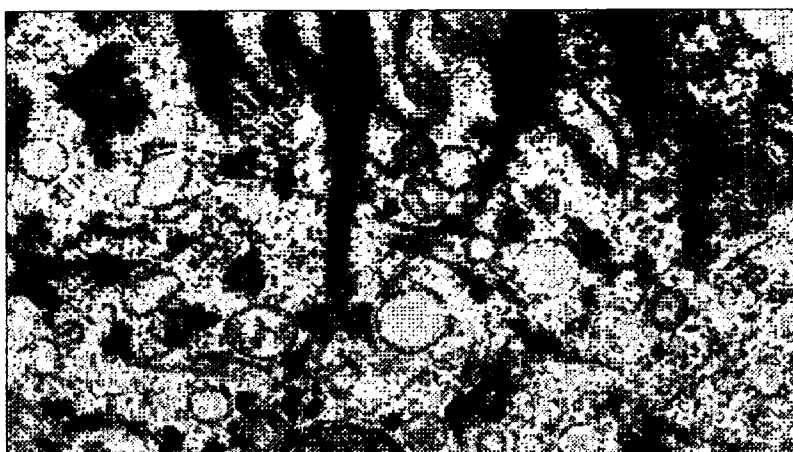


図1 CEDNIK 患者表皮有棘層細胞内において観察された多数の異常な小胞（矢印）。通常透過電顕。

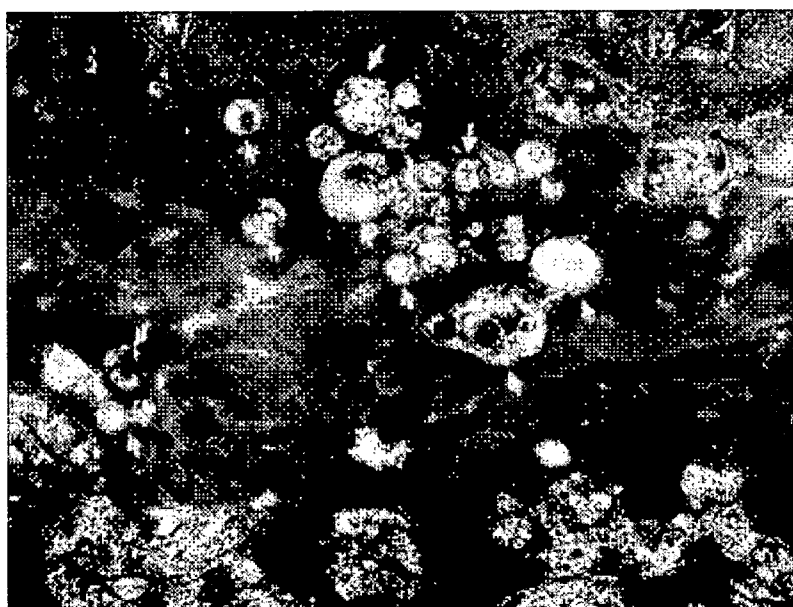


図2 CEDNIK 患者表皮角層細胞内において観察された多数の異常な小胞（矢印）。通常透過電顕。

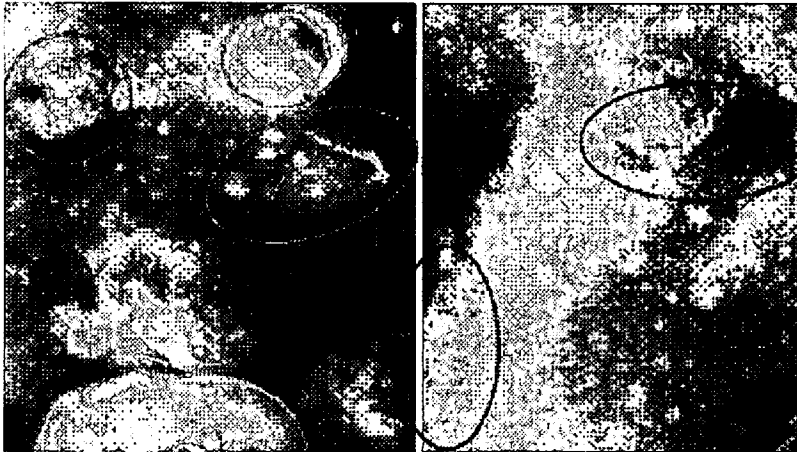


図3 グルコシルセラミド（左、赤）とKLK7（右、緑）を含む層板顆粒が角層内に見られる。CEDNIK患者。凍結超薄切片法による免疫電顕。

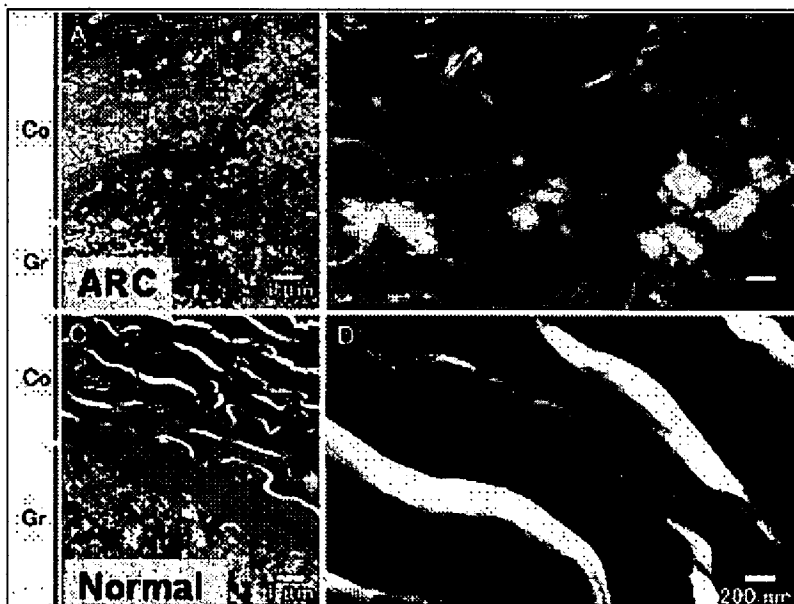


図4 ARC症候群（上）では角層細胞内に分泌されずに残った層板顆粒が見られる。下は正常表皮。通常透過電顕。

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）
分担研究報告書

角化異常症モデル細胞シグナル伝達に関する研究

研究協力者 米田耕造 香川大学医学部皮膚科学講座病院 准教授

研究要旨 魚鱗癬と掌蹠角化症が合併したポーウインケル症候群は、辺縁帯の主成分であるロリクリンをコードする遺伝子に1塩基の挿入変異が生じ、遺伝子の読み枠がずれることによって生じる。変異ロリクリンでは、ロリクリンのカルボキシル末端がアルギニンに富む特殊なアミノ酸配列に変わる。以前われわれは、一時的トランスフェクションの系を用いて、ポーウインケル症候群で見られる錯角化・角質肥厚はカスパーゼ3の活性化とそれに引き続いておこる Caspase-activated deoxyribonuclease (CAD) の核内移行と活性化という過程に障害が生じている可能性を報告してきた。しかしこの系では、トランスフェクションの効率が低いため、上記以上の詳細な解析が困難であった。そこでわれわれは、この問題を回避する目的で、エクジソン誘導発現系を用いて、ポーウインケル症候群モデル細胞の樹立を行った。このポーウインケル症候群モデル細胞は、野生型ロリクリンを発現する細胞株を WL-1 変異ロリクリンを発現する細胞株を VL-5 細胞と命名した。培地にエクジソンを添加すると、それぞれ野生型および変異ロリクリンを発現した。野生型ロリクリンは細胞質および核内に発現しており、変異ロリクリンは核小体にその発現が観察された。かつ野生型ロリクリンと変異ロリクリンの発現量は培地中に添加したエクジソン量に依存していた。VL-5 細胞は WL-1 細胞に比較して増殖が活発であった。VL-5 細胞では、WL-1 細胞に比して、EGF 受容体および VEGF 受容体 2 が強くリン酸化されていた。かつ VL-5 細胞では、WL-1 細胞に比して、Akt が強くリン酸化されていた。VL-5 細胞の Akt の活性は WL-1 細胞の約10倍の活性があった。また、リン酸化された Akt は、VL-5 細胞の核小体に局在していた。VL-5 細胞では、Erk1/2 のリン酸化も見られた。しかし、p38MAP kinase、SAPK/JNK のリン酸化は、野生型ロリクリンを発現する細胞株においても VL-5 細胞でも生じていなかった。今回ポーウインケル症候群を、Disease Control として選択したが、この角化異常症モデル細胞は、水疱型先天性魚鱗癬様紅皮症の病態解明にも深く寄与するものである。

共同研究者

窪田泰夫 香川大学医学部教授
森上徹也 香川大学医学部助教
中井浩三 香川大学医学部助教
出光俊郎 自治医科大学さいたま医療センター准教授

端がアルギニンに富む特殊なアミノ酸配列に変わる。この中に核移行配列が現れるため変異ロリクリンが核内に集積してくる。しかしながら、角化異常が生じる過程における分子メカニズムについては、われわれが見つけてきたアポトーシス以外何も判明していない。この分子メカニズムを更に詳細に検討するため、ロリクリン角皮症モデル細胞を樹立した。今回は、このロリクリン角皮症モデル細胞における、シグナル伝達を、Mock をトランスフェクションした細胞株、野生型ロリクリンをトランスフェ

A. 研究目的

ポーウインケル症候群は、ロリクリン遺伝子に1塩基の挿入変異が入ることが原因である。この挿入変異により遺伝子の読み枠がずれロリクリン分子のカルボキシル末

クシオンした細胞株と対比しつつ検討を加えた。

B. 研究方法

a) プラスミド作製

野生型ロリクリン [Lor (WT)] および変異ロリクリン [Lor(730 ins G)] の gDNA をほ乳類発現ベクターである pIND/V5-His ベクターに挿入した。

b) 細胞培養とトランスフェクション

ヒト表皮細胞由来である HaCaT 細胞を DMEM (Dulbecco's modified Eagle's medium)、100units/ml ペニシリン、100 mg/ml ストレプトマイシン、10%FBS を含む培地中で培養した。HaCaT 細胞はトランスフェクションの前日に継代した。DNA トランスフェクションには、Lipofect AMINE plus 試薬 (Invitrogen) を用いた。PI3 kinase の阻害剤である wortmannin、LY294002 は、Cell Signaling Technology 社より購入した。

c) セレクション

安定トランスフォーマントのセレクションには、DMEM (Dulbecco's modified Eagle's medium)、400 μ g/ml ゼオシン、2mg/ml ジェネテイシン、10%FBS を含む培地を用いた。

d) 一次抗体

抗 V5 抗体は Invitrogen 社より購入した。抗マウスロリクリン抗体は Babco 社より購入した。抗ヒト変異ロリクリン抗体は、山本らの方法に準じて、ウサギ抗体を作成した。抗リン酸化 ERK1/2 抗体、抗 ERK1/2 抗体、抗リン酸化 p38MAP kinase 抗体、抗 p38MAP kinase 抗体、抗リン酸化 SAPK/JNK 抗体、抗 SAPK/JNK 抗体、抗リン酸化 EGF 受容体 (Tyr992) 抗体、抗リン酸化 EGF 受容体 (Tyr1068) 抗体、抗リン酸化 VEGF 受容体 2 (Tyr1175) 抗体、抗 EGF 受容体、抗 VEGF 受容体 2、

抗リン酸化 Akt (Thr308) 抗体、抗リン酸化 Akt (Ser473) 抗体、抗 Akt 抗体は Cell Signaling Technology 社より購入した。

e) 免疫プロット法

安定トランスフォーマント細胞を Laemmli buffer に溶解し、氷上で 30 分静置した。15000 回転で 1 分間遠心後、上清を回収した。蛋白濃度は Bradford 法を用いて測定した。30 μ g の量の蛋白質を SDS-PAGE に展開し、その後、蛋白質をニトロセルロース膜に転写した。このニトロセルロース膜を、上記の一次抗体で、室温で 2 時間反応させた。その後 HRP ラベル二次抗体を反応させ、ECL システム (Amersham Biosciences) を使用して目的とする蛋白質を検出した。

f) Akt kinase アッセイ

Cell Signaling Technology 社の Akt kinase アッセイキットを使用した。Mock、WL-1、VL-5 細胞を RIPA buffer で可溶化した。抗 Akt (1G1) モノクローナル抗体ビーズで免疫沈降を行った。GSK-3 フュージョン蛋白と ATP を加え、kinase 反応を行った。3X SDS Sample Buffer を添加して、kinase 反応を終息させ、SDS-PAGE に展開し、その後、(リン酸化された) 蛋白質をニトロセルロース膜に転写した。このニトロセルロース膜は、抗リン酸化 GSK-3a/b (Ser21/9) 抗体を一次抗体に使用して、4 $^{\circ}$ C で一晩反応させた。その後 HRP ラベル二次抗体を反応させ、ECL システム (Amersham Biosciences) を使用してリン酸化 GSK-3a/b (Ser21/9) を検出した。フィルム上に得られたバンド (シグナル) の濃度をデンシトメトリーを用いて定量化した。

g) 蛍光抗体法

カバーガラス上に培養した Mock、WL-

1細胞、VL-5細胞を-20°Cメタノールで固定した。一次抗体として抗V5抗体および抗リン酸化Akt (Ser473)抗体を使用した。その後、FITC標識ヤギ抗ウサギIgG (Dako)、ビオチン標識ヤギ抗マウスIgG (SIGMA)、Cy3標識ストレプトアビジン (SIGMA)を反応させて、その後コンフォーカルレーザー顕微鏡にて、リン酸化Aktおよび変異ロリクリンの局在を観察した。

C. 研究結果

エクジソン誘導発現ベクターであるpINDベクターに野生型および変異ロリクリン gDNA を挿入後、RXR とエクジソン受容体を恒常的に発現している HaCaT 細胞にこれらのベクターをトランスフェクションした。400 μ g/ml ゼオシン、2mg/ml ジェネティシンにてセレクションを行い、安定トランスフォーマントを得た。これらの安定トランスフォーマントから代表的なものを選び、解析を行った。野生型ロリクリンを発現する細胞株として、WL-1 と名付けた細胞株を選んだ。また、変異ロリクリンを発現する細胞として VL-5 と名付けた細胞株を選んだ。培地にエクジソンを添加すると、野生型および変異ロリクリンを発現した。野生型ロリクリンは、細胞質および核内に発現していた。そして変異ロリクリンは、核小体に発現していた。培地中のエクジソンの濃度を、変化させると、野生型および変異ロリクリンの発現量は（培地のエクジソン濃度依存性に）増加した。Mock、WL-1細胞に比較してVL-5細胞では、EGF受容体およびVEGF受容体2が強クリン酸化されていた。かつ、VL-5細胞では、Mock、WL-1細胞に比してAktが強クリン酸化されていた。VL-5細胞のAktの活性はMockの約9倍、WL-1細胞の約10倍の活性があった（図1 A、B）。コンフォーカルレーザー顕微鏡を用いた観察では、リン酸化Aktは、VL-5細胞にお

いて核小体に存在し、変異ロリクリンと局在を共にしていた（図1 C）。VL-5細胞においては、Erk1/2の活性化が生じていた。しかし、Mock、WL-1細胞においてはErk1/2のリン酸化は生じていなかった。Mock、WL-1細胞、VL-5細胞のいずれの細胞でもp38MAP kinase、SAPK/JNKのリン酸化は生じていなかった（図2）。

D. 考察

今回われわれはエクジソン誘導発現の系を用いて、ボーウインケル症候群モデル細胞を樹立することに成功した。このモデル細胞において、種々のシグナル伝達の変化が観察され、この変化はボーウインケル症候群の病態に深く関与しているものと考えられた。今後このモデル細胞を用いてボーウインケル症候群の病態形成機序をさらに詳細に解析する予定である。

E. 結論

われわれが樹立したボーウインケル症候群のモデル細胞はロリクリン角皮症の病態を解析する上で大変有益である。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表（平成19年度）

1. 論文発表

英語論文

1. Demitsu T, Yoneda K, Umemoto N, Azuma R, Kakurai M, Nishida J, Sadahira C and Kubota Y: Agminated mollusca contagiosa with attenuated ubiquitination of molluscum bodies as an initial sign of malignant lymphoma. **J Eur Acad Dermatol and Venereol** 21: 691-692, 2007
2. Matsuoka Y, Yoneda K, Katsuura J, Moriue T, Nakai K, Sadahira C,

- Yokoi I, Nibu N, Demitsu T and Kubota Y: Successful treatment of follicular cutaneous T-cell lymphoma without mucinosis treated with narrow-band UVB irradiation. **J Eur Acad Dermatol and Venereol** 21:1121-1122, 2007
3. Yoneda K, Bandoh S, Kanaji N, Moriue T, Katsuura J, Matsuoka Y, Nakai K, Demitsu T, Ishida T and Kubota Y: Eosinophilic pustular folliculitis associated with pulmonary infiltration with eosinophilia. **J Eur Acad Dermatol and Venereol** 21:1122-1124, 2007
 4. Moriue T, Yoneda K, Katsuura J, Matsuoka Y, Nakai K, Yokoi I, Matsuda Y, Nibu N, Miyamoto I, Demitsu T and Kubota Y: Planar xanthomas due to cholestasis in graft versus host disease. **Br J Dermatol** 156:1374-1376, 2007
 5. Yoneda K, Katsuura J, Matsuoka Y, Moriwaki S, Moriue T, Nakai K, Yokoi I, Nibu N, Demitsu T and Kubota Y: Xeroderma pigmentosum group G in association with malignant melanoma. **Eur J Dermatol** 17:540-541, 2007
 6. Kakurai M, Demitsu T, Azuma R, Yamada T, Suzuki M, Yoneda K, Ishii N and Hashimoto T: Localized pemphigoid (pretibial type) with IgG antibody to BP180 NC16a domain successfully treated with minocycline and topical corticosteroid. **Clin Exp Dermatol** 32:759-761, 2007
 7. Yoneda K, Yokoi I, Demitsu T, Matsuda Y, Matsuoka Y, Miyamoto I, Moriue T, Nakai K, Nibu N, Hashimoto T and Kubota Y: Linear IgA bullous disease showing insect bite-like eruption. **Eur J Dermatol** 17:340-341, 2007
 8. Demitsu T, Kakurai M, Iida E, Takada M, Hiratsuka Y, Azuma R and Yoneda K: A case of nodular cystic fat necrosis with systemic lupus erythematosus presenting the multiple subcutaneous nodules on the extremities. **J Eur Acad Dermatol and Venereol** in press
 9. Demitsu T, Kakurai M, Azuma R, Haratsuka Y, Umemoto N, Ozaki K and Yoneda K: Long-lasting, urticaria-like erythema associated with IgA monoclonal gammopathy of undetermined significance. **J Dermatol** in press
 10. Nakai K, Yoneda K, Moriue T, Matsuoka Y, Yokoi I, Nibu N and Kubota Y: Fabry disease masquerading as multiple leg ulcers. **J Eur Acad Dermatol and Venereol** 22: 382-383, 2008
 11. Demitsu T, Yoneda K, Iida E, Takada M, Azuma R, Umemoto N, Hiratsuka Y, Yamada T and Kakurai M: Urticarial vasculitis with hemorrhagic vesicles successfully treated with reserpine: report of a case. **J Eur Acad Dermatol and Venereol** in press
 12. Yoneda K, Demitsu T, Matsuda Y and Kuboata Y: Possible molecular mechanisms for sebaceous hyperplasia overlying dermatofibroma. **Br J Dermatol** in press
 13. Kubota Y, Yoneda K, Nakai K, Moriue T, Moriue J and Yokoi I: DRESS in a patient taking a dietary supplement containing phenobarbital purchased by internet

- shopping. **Eur J Dermatol** in press
14. Moriue T, Yoneda K, Moriue J, Matsuoka Y, Nakai K, Yokoi I, Matsuda Y, Nibu N, Miyamoto I and Kubota Y: Simple therapeutic strategy for ingrown toenail with super elastic wire. **Dermatol Surg** in press
 15. Demitsu T, Kakurai M, Azuma R, Hiratsuka Y, Yamada T and Yoneda K: Recalcitrant pemphigus foliaceus with Kaposi's varicelliform eruption: report of a fatal case. **Clin Exp Dermatol** in press
 16. Yoneda K, Demitsu T, Matsuoka Y, Moriue T, Nakai K, Kushida Y, Haba R and Kubota Y: Subcellular activation site of caspase 3 in apoptotic keratinocytes observed in lichenoid tissue reaction. **Br J Dermatol** in press
 17. Kubota Y, Yoneda K, Nakai K, Moriue T, Matsuoka Y, Yokoi I and Ohya Y: Open-label pilot study of topical sequential applications with corticosteroids and tacrolimus of pediatric atopic dermatitis. **J Am Acad Dermatol** in press
 18. Nakai K, Yoneda K, Moriue T, Kosaka H and Kubota Y: Angiotensin II enhanced cell proliferation and EGF receptor expression levels via ROS formation in HaCaT cells. **J Dermatol Sci** in press
 19. Moriue T, Igarashi J, Yoneda K, Nakai K, Kosaka H and Kubota Y: Sphingosine-1-phosphate attenuates H₂O₂-induced apoptosis in cultured vascular endothelial cells: roles of caspase-3 and p38 MAP kinase. **Biochem Biophys Res Commun** 368:852-857, 2008
- 和文著書
1. 窪田泰夫、米田耕造: 分子標的治療薬による皮膚病変、印刷中
 2. 米田耕造、窪田泰夫: ケラチン病-最近の進歩、WHAT'S NEW in 皮膚科学、宮地良樹編、メジカルビュー社、東京、pp.30-31, 2007
 3. 米田耕造、窪田泰夫: 乾皮症、スキンケア最前線、宮地良樹編、メジカルビュー社、東京、印刷中
- 和文総説
1. 米田耕造、窪田泰夫: 角化症をどのように診るか、**Clinical Derma**、8: 3-6, 2007
 2. 米田耕造、窪田泰夫: 表皮細胞: 疾患とユビキチン化、**日本皮膚科学会雑誌** 117:2422-2424, 2007
- 和文論文
1. 中井浩三、米田耕造、横井郁美、丹生名都子、宮本 泉、松田保史、松岡由恵、森上徹也、串田吉生、羽場礼次、窪田泰夫: アトピー性皮膚炎に合併したアミロイド苔癬の1例、**皮膚科の臨床**、49:1528-1529, 2007
 2. 宮本 泉、米田耕造、松田保史、丹生名都子、松岡由恵、横井郁美、中井浩三、森上徹也、窪田泰夫: インフリキシマブ投与により改善したアトピー性皮膚炎の1例、**皮膚科の臨床**、49:984-985, 2007
 3. 横井郁美、米田耕造、窪田泰夫: Zosteriform lichen planus の1例、**皮膚科の臨床**、49:986-987, 2007
 4. 丹生名都子、横井郁美、森上徹也、森上純子、松岡由恵、中井浩三、定平知江子、宮本 泉、松田保史、米田耕造、

窪田泰夫：前治療抵抗性アトピー性皮膚炎に対する Th2 サイトカイン阻害薬の有用性の検討—QOL 評価を加えて—、皮膚の科学、6:33-37, 2007

5. 窪田泰夫、森上徹也、中井浩三、松岡由恵、横井郁美、丹生名都子、宮本泉、松田保史、米田耕造：患者主体の評価を基にしたベシル酸ベボタスチン（タリオン錠）の慢性蕁麻疹患者に対する臨床的有用性と患者 QOL に及ぼす影響—慢性蕁麻疹の症状はどのように改善されるか—、西日本皮膚科、69: 554-560, 2007
6. 窪田泰夫、森上徹也、森上純子、松岡由恵、中井浩三、横井郁美、丹生名都子、宮本泉、松田保史、米田耕造：そう痒性皮膚疾患に対するロラタジン口

腔内速溶錠（クラリチンレディタブ錠）の服用性及び有用性の検討—患者主体の評価を中心に—、西日本皮膚科、69: 653-659, 2007

7. 松田保史、松岡由恵、宮本泉、米田耕造、窪田泰夫：脂腺の過形成を認めた皮膚線維腫の 1 例、皮膚科の臨床、印刷中
8. 窪田泰夫、横井郁美、米田耕造：糖尿病合併皮膚潰瘍に対する Lipo PGE1 製剤の有用性と患者 QOL に及ぼす影響、診療と新薬、印刷中

H. 知的所有権の出願・登録状況（予定を含む）
なし

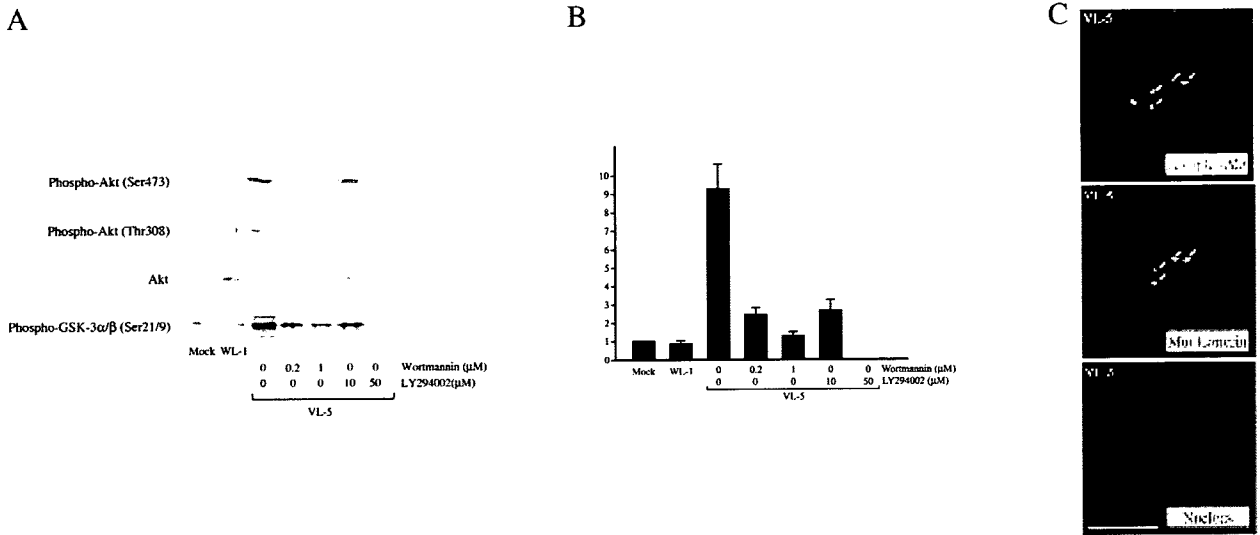


図1 Akt kinaseアッセイの結果とリン酸化 Akt の局在

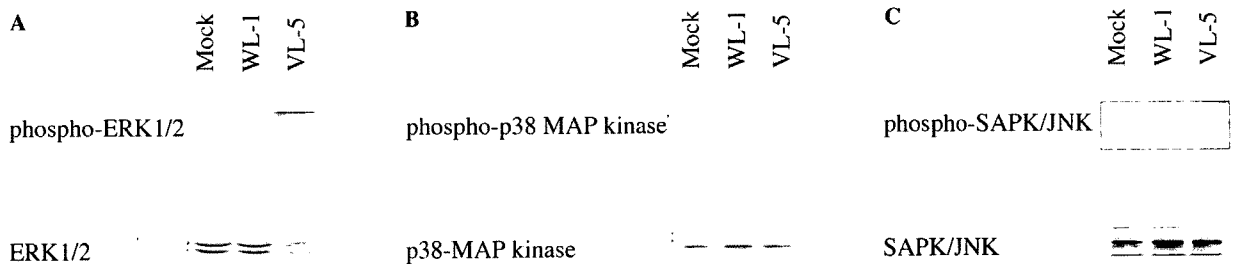


図2 各種 MAP kinase のリン酸化

[IV]

研究成果の刊行に関する一覧表

1. 雑誌

著者名	論文題目	雑誌名	巻：頁、西暦年号
Chernyavsky AI, Arredondo J, <u>Kitajima Y</u> , Sato-Nagai M, Grando SA	Desmoglein vs non-desmoglein signaling in pemphigus acantholysis : characterization of novel signaling pathways downstream of pemphigus vulgaris antigens	J Biol Chem	282(18) : 13804-11382, 2007
<u>Kitajima Y</u> , <u>Aoyama Y</u>	A perspective of pemphigus from bedside and laboratory-bench	Clin Rev Allergy Immunol	33(1-2):57-66,2007
Ichiki Y, <u>Kitajima Y</u>	Thrombotic thrombocytopenic purpura associated with systemic lupus erythematosus	Eur J Dermatol	17(6) : 548-549, 2007
Ichiki Y, <u>Kitajima Y</u>	Successful treatment of scleroderma-related cutaneous ulcer with suction blister grafting	Rheumatology International	28(3) : 299-301, 2008
Ichiki Y, Kato Y, <u>Kitajima Y</u>	Assessment of burn area: most objective method	Burns	in press
<u>Aoyama Y</u> , Asai K, Hioki K, Funato M, Kondo N, <u>Kitajima Y</u>	Herpes gestationis in a mother and newborn : immunoclinical perspectives based on a weekly follow-up the enzyme-linked immunosorbent assay index of a bullous pemphigoid antigen noncollagenous domain	Arch Dermatol	143(9) : 1168-1172, 2007
Kanno M, <u>Aoyama Y</u> , Yamamoto Y, <u>Kitajima Y</u>	p120ctn is associated with desmogleins when desmosomes are assembled in high Ca ²⁺ , but not when disassembled in low-Ca ²⁺ medium in DJM-1 cells	J Dermatol	in press
Iwata H, <u>Aoyama Y</u> , Esaki C, <u>Kitajima Y</u>	Cicatricial pemphigoid with prominent alopecia	Eur J Dermatol	17(4) : 338-339, 2007
Shu E, Yamamoto Y, <u>Aoyama Y</u> , <u>Kitajima Y</u>	Intraperitoneal injection of pemphigus vulgaris-IgG into mouse depletes epidermal Keratinocytes of desmoglein 3 associated with generation of acantholysis	Arch Dermatol Res	299(3) : 165-167, 2007
Yamamoto Y, <u>Aoyama Y</u> , Shu E, Tsunoda Y, <u>Amagai M</u> , <u>Kitajima Y</u>	No activation of urokinase plasminogen activator by anti-desmoglein 3 monoclonal IgG	J Dermatol Sci	47(2) : 119-125, 2007
Kanno M, Isa Y, <u>Aoyama Y</u> , Yamamoto Y, Nagai M, Ozawa M, <u>Kitajima Y</u>	p120-catenin is a novel-desmoglein 3 interacting partner: identification of p120-catenin	Exp Cell Res	in press
<u>Kitajima Y</u>	A new perspective of autoimmune bullous diseases : molecular cell biology of blistering mechanisms and logical treatments	The 33rd Annual Meeting of the Taiwanese Dermatological Association	4-16, 2007
Yamamoto Y, <u>Aoyama Y</u> , Shu E, Tsunoda K, <u>Amagai M</u> , <u>Kitajima Y</u>	Anti-desmoglein3 (Dsg3) monoclonal antibodies deplete desmosomes of Dsg3 and differ in their Dsg3-depleting activities related to pathogenicity	J Biol Chem	282(24) : 17866-17876, 2007

青山裕美 北島康雄	妊娠性疱疹と新生児類天疱瘡の診断と治療	デルマ	in press
奥田容子 新田悠紀子 小池文美香 大野俊之 黒木のぞみ 倉橋直子 青山裕美 北島康雄	線状IgAIgG水疱症の男児例	臨床皮膚科	in press
北島康雄	自己免疫性水疱症の治療と実際	日本皮膚科学会雑誌	117(13):2099-2101, 2007
北島康雄 青山裕美	自己免疫性水疱症	炎症と免疫	15(5):89(633)-94(638), 2007
北島康雄 (編集企画)	水疱症の診断と治療	Monthly Book Derma	in press
北島康雄 青山裕美	自己免疫性水疱症 1) 尋常性天疱瘡と落葉状天疱瘡の診断と治療	Monthly Book Derma	in press
北島康雄	水疱症と水疱のできる皮膚疾患	健康教室	59(3):77-80, 2008
浅井かなこ 日置加奈 林 美穂 米田和史 青山裕美 北島康雄	後天性表皮水疱症の1例	皮膚科の臨床	in press
飴野 彩 市川裕子 青山裕美 北島康雄 河内隆宏 山田俊樹 森脇久隆	B細胞リンパ腫に伴った腫瘍随伴性天疱瘡の1例	皮膚科の臨床	50(1):31-34, 2008
青山裕美 北島康雄	水疱型先天性魚鱗癬様紅皮症	デルマ	in press
市川裕子 青山裕美 永井美貴 奥村陽子 小嶋三佳 北島康雄	水疱型先天性魚鱗癬様紅皮症(BCIE)に対する外用療法の試み	第21回角化症研究会記録集	73-76, 2007
森 理、高橋よしえ、辛島正志、橋本隆	Their Dsg3-depleting activities related to pathogenicity	皮膚臨床	49(2):201-204,2007
上田厚登、前山 直、黒瀬浩一郎、辛島正志、井上光世、安元慎一郎、森 理、橋本 隆	後頭部に限局した増殖性天疱瘡の1例	皮膚臨床	49(3):347-350,2007
飯島茂子、二藤部弘暁、橋本 隆	手術瘢痕上に出没する自己免疫性水疱症の2例	皮膚臨床	49(3):351-355,2007
寺原慶子、樋口雅子、島田浩光、濱田尚宏、名嘉眞武国、安元慎一郎、橋本 隆	Complex regional pain syndrome type 2の1例	皮膚臨床	49(2):193-196,2007
田中聖子、上田厚登、前山泰彦、名嘉眞武国、橋本 隆、荒川正博、山本暢宏	外陰部に生じ結節状を呈した基底細胞癌の2例	皮膚臨床	49(4):507-510,2007
寺原慶子、石井文人、黒瀬浩一郎、名嘉眞武国、安元慎一郎、橋本 隆	皮膚円柱腫の1例	皮膚臨床	49(5):648-649,2007
吉田まり子、前山泰彦、楠原正洋、安元慎一郎、橋本 隆	顔面に環状紅斑を生じた小児のsubclinical Sjogren syndrome	皮膚病診療	29(5):555-558,2007
橋川恵子、大山文悟、名嘉眞武国、楠原正洋、橋本 隆	重症カンジダ性爪囲爪炎を伴った慢性口腔カンジダ症の1例	臨皮	61(6):461-464,2007
橋本 隆	子どもに水疱を見たときに、増刊号、知っておきたい「小児の皮膚」	小児科臨床	60(増刊号):1379-1407,2007
橋本 隆	重症薬疹と水疱症、特集、重症薬疹	アレルギー・免疫	14(4):1454-461,2007
西岡和恵、高旗博昭、富永和行、石井文人、橋本 隆	肺癌を合併し、抗デスマグレイン3抗体要請であった水疱性類天疱瘡の1例	西日皮膚	69(4):370-373,2007

平田結衣、幾井宣行、森脇真一、清金公裕、橋本 隆	尋常性乾癬を合併した類天疱瘡の1例	皮膚の科学	6(3):250-254,2007
橋本 隆	口唇炎、口内炎と一口にいうが、天疱瘡と扁平苔癬	診断と治療	95(9):1343-1348,2007
橋本 隆	ナイアシンの臨床	Modern Physician	27(9):1225-1227,2007
入澤亮吉、福武勝幸、石井文人、橋本隆、坪井良治	血液凝固第VIII因子インヒビターによる後天性血友病を合併した尋常性天疱瘡の1例	臨床	61(7):593-596,2007
Hamada T, Sandilands A, Fukuda S, Sakaguchi S, Ohyama B, Yasumoto S, McLean WH, <u>Hashimoto T</u>	De Novo Occurrence of the Filaggrin Mutation p.R501X with Prevalent Mutation c.3321delA in a Japanese Family with Ichthyosis Vulgaris Complicated by Atopic Dermatitis	J Invest Dermatol	2007
Demitsu T, <u>Hashimoto T</u> et al	Localized pemphigoid (Brunsting-Perry type) with IgG antibody to BP180 NC16a domain resembling lupus erythematosus successfully treated with topical tacrolimus therapy	J Eur Acad Dermatol venereal	in press
Murrel D, <u>Hashimoto T</u> , Werth V et al	Consensus Statement on Definitions of Disease Endpoints and Therapeutic Response for Pemphigus	J Am Acad Dermatol	in press
Dilling A, Rose C, <u>Hashimoto T</u> , Zillikens D, Shimanovich I	Anti-p200 pemphigoid: A novel autoimmune subepidermal blistering disease	J Dermatol	34(1):1-8,2007
Fukumoto T, Shiroyama Y, <u>Niizeki H</u> , Kobayashi N, Asada H, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Miyagawa S	Paraneoplastic pemphigus presenting as erythorodermic lichenoid dermatitis with concomitant features of pemphigus foliaceus	J Dermatol	34:645-649,2007
Maruyama H, Kawachi Y, Fujisawa Y, Itoh S, Furuta J, Ishii Y, Takahashi T, <u>Hashimoto T</u> , Otsuka F	IgA/IgG pemphigus positive for anti-desmoglein 1 autoantibody	Eur J Dermatol	17(1):94-95,2007
Pastar Z, Rados J, Lipozencic J, Dobric I, Marinovic B, Ishii N, <u>Hashimoto T</u>	Case of concurrent epidermolysis bullosa acquisita and anti-p200 pemphigoid - how to treat it?	Int J Dermatol	46(3):295-298,2007
Sugita K, Kabashima K, Nishio D, <u>Hashimoto T</u> , Tokura Y	Th2 cell fluctuation in association with reciprocal occurrence of bullous pemphigoid and psoriasis vulgaris	J Eur Acad Dermatol Venereol	21(4):569-570,2007
Yamane N, Sawamura D, Nishie W, Abe M, Kodama K, Adachi K, Nakamura H, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Shimizu H	Anti-p200 pemphigoid in a 17-year-old girl successfully treated with systemic corticosteroid and dapsone	Br J Dermatol	156(5):1075-1078,2007
Ishii N, Kusuhara M, Yasumoto S, <u>Hashimoto T</u>	Adenoma of the nipple in a Japanese man	Clin Exp Dermatol	32(4):448-449,2007

Yoneda K, Yokoi I, Demitsu T, Matsuda Y, Matsuoka Y, Miyamoto I, Moriue T, Nakai K, Nibu N, <u>Hashimoto T</u> , Kubota Y	Localized linear IgA disease showing contact dermatitis-like eruption	Eur J Dermatol	17(4):340-341,2007
Fukiwake N, Moroi Y, Urabe K, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Furue M	Detection of autoantibodies to desmoplakin in a patient with oral erythema multiforme	Eur J Dermatol	17(3):238-241,2007
Izumi R, Fujimoto M, Yazawa N, Nakashima H, Asahina N, Watanabe R, Kuwano Y, Kurokawa M, <u>Hashimoto T</u> , Tamaki K	Bullous pemphigoid positive for anti-BP180 and anti-laminin 5 antibodies in a patient with graft-vs-host disease	J Am Acad Dermatol	56(5 Suppl):S94-97,2007
Taintor A, Leiferman KL, <u>Hashimoto T</u> , Zone JJ, Hull CM	A novel case of IgA paraneoplastic pemphigus associated with chronic lymphocytic leukemia	J Am Acad Dermatol	56(5 Suppl):S73-76,2007
Kowalewski C, Hamada T, Wozniak K, Kawano Y, Szczecinska W, Yasumoto S, Schwartz RA, <u>Hashimoto T</u>	A novel autosomal partially dominant mutation designated G476D in the keratin 5 gene causing epidermolysis bullosa simplex Weber-Cockayne type: A family study with a genetic twist	Int J Mol Med	20(1):75-8,2007
Hamada T, Kimura Y, Hayashi S, Nakama T, <u>Hashimoto T</u>	Hypereosinophilic syndrome with peripheral circulatory insufficiency and cutaneous microthrombi	Arch Dermatol	143(6):812-813,2007
Kohroh K, Suga Y, Mizuno Y, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Ikeda S	Case of localized bullous pemphigoid with unique clinical manifestations in the lower legs	J Dermatol	34(7):482-5,2007
Hamada T, Yasumoto S, Karashima T, Ishii N, Shimada H, Kawano Y, Imayama S, McGrath JA, <u>Hashimoto T</u>	Recurrent p.N767S mutation in the ATP2A2 gene in a Japanese family with haemorrhagic Darier's disease clinically mimicking epidermolysis bullosa simplex with mottled pigmentation	Br J Dermatol	157(3):605-608, 2007
Kakurai M, Demitsu T, Azuma R, Yamada T, Suzuki M, <u>Yoneda K</u> , Ishii N, <u>Hashimoto T</u>	Localized pemphigoid (pretibial type) with IgG antibody to BP180 NC16a domain successfully treated with minocycline and topical corticosteroid	Clin Exp Dermatol	2007 Aug 24
Ishii N, <u>Hashimoto T</u>	A Case of Paraneoplastic Pemphigus Who Shifted to Pemphigus Vulgaris	J Eur Acad Dermatol Venereol	22(3):374-5,2008
Hamada T, Inoue Y, Nakama T, <u>Hashimoto T</u>	A case of zosteriform pigmented purpuric dermatosis	Arch Dermatol	143(12):1599-600,2007
Nakama T, Ishii N, Ono F, Hamada T, Yasumoto S, <u>Hashimoto T</u>	The efficacy of interferon-gamma in patients with refractory bullous pemphigoid	J Dermatol	34(11):737-45,2007

Nakajima K, Hashimoto T, Nakajima H, Yokogawa M, Kodama H	IgG/IgA pemphigus with dyskeratotic acantholysis and intradepidermal neutrophilic microabscesses	J Dermatol	34(11):757-60,2007
Dainichi T, Ueda S, Furue M, Hashimoto T	By the grace of peeling: the brace function of the stratum corneum in the protection from photo-induced keratinocyte carcinogenesis	Arch Dermatol Res	in press
Blazsek A, Kornsee Z, Lepesi-Benko R, Ishii N, Nagy ZB, Gergely P, Poor G, Hashimoto T, Csikos-Medvecz, Karpati S	Detection of Torque Teno virus in patients with autoimmune bullous skin disorders	Exp Dermatol	in press
Waschke J, Menendez-Castro C, Bruggeman P, Koob R, Amagai M, Gruber HJ, Drenckhahn D, Baumgartner W	Imaging and force spectroscopy on desmoglein 1 using atomic force microscopy reveal multivalent Ca(2+)-dependent, low-affinity trans-interaction	J Membr Biol	216 (2-3): 83-92, 2007
Nishifuji K, Olivry T, Ishii K, Iwasaki T, Amagai M	IgG autoantibodies directed against desmoglein 3 cause dissociation of keratinocytes in canine pemphigus vulgaris and paraneoplastic pemphigus	Vet Immunol Immunopathol	117 (3-4): 209-221, 2007
Nagasaka T, Fujii Y, Ishida A, Handa M, Tanikawa A, Amagai M, Nishikawa T	Evaluating efficacy of plasmapheresis for patients with pemphigus using desmoglein enzyme-linked immunosorbent assay	Br J Dermatol	2008
Murrell DF, Dick S, Ahmed AR, Amagai M, Barnadas MA, Borradori L, Bystryrn J-C, Cianchini G, Diaz L, Fivenson D, Goldsmith LA, Hall R, Harman K, Hashimoto T, Hertl M, Hunzelmann N, Iranzo P, Joly P, Jonkman MF, Kitajima Y, Korman NJ, Martin LK, Mimouni D, Pandya AG, Payne AS, Rubenstein D, Shimizu H, Sinha AA, Sirois D, Zillikens D, Werth VP	Consensus Statement on Definitions of Disease, Endpoints, and Therapeutic Response for Pemphigus	J Am Acad Dermatol	in press
Kwon EJ, Yamagami J, Nishikawa T, Amagai M	Anti-desmoglein IgG autoantibodies in patients with pemphigus in remission	J Eur Acad Dermatol Venereol	in press
西藤公司, 天谷雅行	ヒトの天疱瘡における水疱形成メカニズム	Visual Veterinary Dermatology	3 (1): 7-12, 2007
天谷雅行	自己免疫性皮膚疾患 基礎から臨床へ	感染・炎症・免疫	37 (1): 18-27, 2007
天谷雅行	ブドウ球菌感染における皮膚病変とその機序-天疱瘡との類似点-	化学療法の領域	23 (7): 1061-1066, 2007

角田和之, <u>天谷雅行</u>	天疱瘡自己抗体のあらたな病原性評価法の開発 —In vitro dissociation assay: Development of novel assay for pathogenic activity of anti-desmoglein 3 autoantibody	医学のあゆみ	221 (11): 921-925, 2007
<u>天谷雅行</u>	自己免疫 最近の進歩	日本皮膚科学会雑誌	117 (13): 2093-2094, 2007
Ishiko, A., Dekio, I., Fujimoto, A., Kameyama, K., Sakamoto, M., Benno, Y., <u>Amagai, M.</u> , and Nishikawa, T	Abnormal keratin expression in circumscribed palmar hypokeratosis	J Am Acad Dermatol	57:285-291,2007
Kawachi, M., Tamai, K., Saga, K., Yamazaki, T., Fujita, H., Shimbo, T., Kikuchi, Y., Nimura, K., Nishifuji, K., <u>Amagai, M.</u> , et al	Development of tissue-targeting hemagglutinating virus of Japan envelope vector for successful delivery of therapeutic gene to mouse skin	Hum Gene Ther	18:881-894,2007
Nishifuji, K., Sugai, M., and <u>Amagai, M</u>	Staphylococcal exfoliative toxins: "Molecular scissors" of bacteria that attack the cutaneous defense barrier in mammals	J Dermatol Sci	2007
Takahashi, H., <u>Amagai, M.</u> , Tanikawa, A., Suzuki, S., Ikeda, Y., Nishikawa, T., Kawakami, Y., and Kuwana, M	T helper type 2-biased natural killer cell phenotype in patients with pemphigus vulgaris	J Invest Dermatol	127:324-330,2007
青地聖子、大野貴司、中西 元、 <u>岩月啓氏</u> 、神崎寛子	Permanent Cosmetic Filler注入により生じた異物肉芽腫の1例	日本皮膚科学会雑誌	117 : 53-56, 2007
古江増隆、川島 眞、古川福実、飯塚一、伊藤雅章、中川秀己、塩原哲夫、島田眞路、瀧川雅浩、竹原和彦、宮地良樹、片山一朗、 <u>岩月啓氏</u> 、橋本公二	AD Forumアトピー性皮膚炎の経時的推移に関するアンケート調査研究	臨床皮膚科	61 : 286-295, 2007
Hamada T, Matsuura H, Oono T, Yamasaki , Asagoe K, Yamamoto T, Tsuji K, <u>Iwatsuki K</u>	Karyotypic analysis of marrow cells in pyodermic lesions associated with myelodysplastic syndrome	Arch Dermatol	in press
Aochi S, Nakanishi G, Suzuki N, Setsu N, Suzuki D, Aya K, <u>Iwatsuki K</u>	A novel homozygous mutation of the EVER1/TMC6 gene in a Japanese patient with epidermodysplasia verruciformis	Br J Dermatol	2007, Epub ahead of print
Yamasaki O, Asagoe K, Otuka M, Oono T <u>Iwatsuki K</u>	Infectious complications and managements for surgical site infections in genital Paget's disease	J Eur Acad Dermatol Venereol	21: 897-901,2007
Nakanishi G, Lin SN, Asagoe K, Suzuki N, Matsuo A, Tanaka R, Makino E, Fujimoto W, <u>Iwatsuki K</u>	A novel fusion gene of collagen type 1(exon 31) and platelet-derived growth factor B-chain(exon 2) in dermatofibrosarcoma protuberans	Eur J Dermatol	17: 2127-9,2007

Kawabata R, Wada H, Isobe M, Saika T, Sato S, Uenaka A, Miyata H, Yasuda T, Doki Y, Noguchi Y, Kumon H, Tsuji K, <u>Iwatsuki K</u> , Shiku H, Ritter G, Murphy R, Hoffman E, Old LJ, Monden M, Nakayama E	Antibody response against NY-ESO-1 in CHP-NY-ESO-1 vaccinated patients	Int J Cancer	2007, Epub ahead of print
Yamamoto T, Tsuji K, Suzuki D, Morizane S, <u>Iwatsuki K</u>	A novel, noninvasive diagnostic probe for hydroa vacciniforme and related disorders: Detection of latency-associated Epstein-Barr virus transcripts in the crusts	J Microbiol Methods	68: 403-407,2007
Takahashi S, Tsuji K, Fujii K, Okazaki F, Takigawa T, Ohtsuka A, <u>Iwatsuki K</u>	Prospective study of clinical symptoms and skin test reactions in medical students exposed to formaldehyde gas	J Dermatol	34:283-289,2007
Uenaka A, Wada H, Isobe M, Saika T, Tsuji K, Sato E, Sato S, Noguchi Y, Kawabata R, Yasuda T, Doki Y, Kumon H, <u>Iwatsuki K</u> , Shiku H, Monden M, Jungbluth AA, Ritter G, Murphy R, Hoffman E, Old LJ and Nakayama E	T cell immunomonitoring and tumor responses in patients immunized with a complex of cholesterol-bearing hydrophobized pilluan (CHP) and NY-ESO-1 protein	Cancer Immunity 7	7: 9-19, 2007
Yamada A, Yamasaki O, Asagoe K, Tsuji K, Hamada T, Ota Y, <u>Iwatsuki K</u>	Recovery from Sezary syndrome following Mycobacterium avium spondylitis	Br J Dermatol	2007, Epub ahead of print
Sugiyama H, Asagoe K, Morizane S, Oono T, Okazaki F, <u>Iwatsuki K</u>	Leukocyte common antigen-negative, aggressive cutaneous anaplastic large cell lymphoma with prominent pseudocarcinomatous hyperplasia	Eur J Dermatol	18(1):74-7,2008
Miyazaki M, Hardjo M, Masaka T, Tomiyama K, Mahmut N, Medina RJ, Niida A, Sonogawa H, Du G, Yong R, Takaishi M, Sakaguchi M, <u>Huh NH</u>	Isolation of a bone marrow-derived stem cell line with high proliferation potential and its application for preventing acute fatal liver failure	Stem Cells	25(11):2855-63,2007
Edamura K, Nasu Y, Takaishi M, Kobayashi T, Abarzua F, Sakaguchi M, Kashiwakura Y, Ebara S, Saika T, Watanabe M, <u>Huh NH</u> , Kumon H	Adenovirus-mediated REIC/Dkk-3 gene transfer inhibits tumor growth and metastasis in an orthotopic prostate cancer model	Cancer Gene Ther	14:765-772, 2007
Abarzua F, Sakaguchi M, Tanimoto R, Sonogawa H, Li DW, Edamura K, Kobayashi T, Watanabe M, Kashiwakura Y, Kaku H, Saika T, Nakamura K, Nasu Y, Kumon H, <u>Huh NH</u>	Heat shock proteins play a crucial role in tumor-specific apoptosis by REIC/Dkk-3	Int J Mol Med	20:37-43, 2007
Tomiyama K, Miyazaki M, Nukui M, Takaishi M, Nakao A, Shimizu N, <u>Huh NH</u>	Limited contribution of cells of intact extrahepatic tissue origin to hepatocyte regeneration in transplanted rat liver	Transplantation	83:624-630, 2007

Tanimoto R, Abarzua F, Sakaguchi M, Takaishi M, Nasu Y, Kumon H, <u>Huh NH</u>	REIC/Dkk-3 as a potential gene therapeutic agent against human testicular cancer	Int J Mol Med	19:363-368, 2007
Tsuru K, Hayakawa S, Shirosaki Y, Okayama T, Kataoka K, <u>Huh NH</u> , Osaka A	reparation of porous organically-modified silicate hybrid cell culture matrix	Key Engineering Materials	330-332:1177-1180, 2007
Nukui T, Ehama R, Sakaguchi M, Sonogawa H, Katagiri C, Hibino T, <u>Huh NH</u>	S100A11, a dual mediator for growth regulation of human keratinocytes	J Cell Biochem	in press
Sakaguchi M, Sonogawa H, Murata H, Kitazoe M, Futami JI, Kataoka K, Yamada H, <u>Huh NH</u>	S100A11, a dual mediator for growth regulation of human keratinocytes	Mol Biol Cell	2007 Oct 31
Sakaguchi M, Murata H, Sonogawa H, Sakaguchi Y, Futami JI, Kitazoe M, Yamada H, <u>Huh NH</u>	Truncation of annexin A1 is a regulatory lever for linking EGF signaling with cytosolic phospholipase A2 in normal and malignant squamous epithelial cells	J Biol Chem	2007 Oct 10
Sonogawa H, Nukui T, Li DW, Takaishi M, Sakaguchi M, <u>Huh NH</u>	Involvement of deterioration in S100C/A11-mediated pathway in resistance of human squamous cancer cell lines to TGFb-induced growth suppression	J Mol Med	85:753-762, 2007
Ishiura N, <u>Komine M</u> , Kadono T, Kikuchi K, Tamaki K	A case of milia en plaque successfully treated with oral etretinate	Br J Dermatol	157(6):1287-9,2007
Kuwano Y, Fujimoto M, Watanabe R, Ishiura N, Nakashima H, <u>Komine M</u> , Hamazaki TS, Tamaki K, Okochi H	The involvement of Gab1 and PI 3-kinase in beta1 integrin signaling in keratinocytes	Biochem Biophys Res Commun	361(1):224-9,2007
Fujita H, Asahina A, <u>Komine M</u> , Tamaki K	ERK inhibitor PD98059 promotes the phenotypic and functional maturation of murine resident Langerhans cells	J Dermatol	34(6):403-6,2007
Fujita H, Asahina A, <u>Komine M</u> , Tamaki K	The direct action of 1alpha,25(OH)2-vitamin D3 on purified mouse Langerhans cells	Cell Immunol	245(2):70-9
<u>Komine M</u> , Karakawa M, Takekoshi T, Sakurai N, Minatani Y, Mitsui H, Tada Y, Saeki H, Asahina A, Tamaki K	Early inflammatory changes in the "perilesional skin" of psoriatic plaques: is there interaction between dendritic cells and keratinocytes?	J Invest Dermatol	127(8):1915-22,2007
Saeki H, Hosono S, Tsunemi Y, Sasaki K, Kadono T, Ihn H, <u>Komine M</u> , Asahina A, Kikuchi K, Tamaki K	Psoriasis vulgaris associated with superior vena cava syndrome due to lung cancer metastasis	J Dermatol	34(5):356-9,2007

Kikuchi K, <u>Komine M</u> , Takekoshi T, Tamaki K	Serum uric acid levels in patients with vitiligo receiving narrowband ultraviolet B phototherapy	Clin Exp Dermatol	32:107-8, 2007
Masui Y, Sugaya M, Kagami S, Fujita H, Yano S, Nagao M, <u>Komine M</u> , Saeki H, Ihn H, Kikuchi K, Tamaki K	Sezary syndrome treated with narrowband ultraviolet B: time-course measurement of serum levels of CCL17/CCL27	Clin Exp Dermatol	32:57-9, 2007
<u>小宮根真弓</u>	ケラチノサイトの生化学 ストレスとケラチノサイト	日本皮膚科学会雑誌	117(13):2420-2421,2007
横倉英人, 若旅功二, 山田朋子, <u>小宮根真弓</u> , 村田哲, 大槻マミ太郎	急速に増大する下眼瞼皮下腫瘤を形成した症例	皮膚病診療	29(12):1407-1410,2007
福地修, 太田有史, 石地尚興, 本田まりこ, 上出良一, 中川秀己, <u>小宮根真弓</u> , 長谷川友紀	乾癬の臨床評価におけるSelf-Administered PASIの有用性とQOL指標との関連性	日本皮膚科学会雑誌	117(12):1969-1976,2007
<u>小宮根真弓</u>	以前から使われている薬剤の新しい使い方・問題点 マクロライド系抗生物質	皮膚科の臨床	49(10):1227-1230,2007
<u>小宮根真弓</u>	全身にみられる皮疹 内臓悪性腫瘍に伴う皮膚疾患	診断と治療	95(9):1530-1536,2007
<u>小宮根真弓</u>	臨床研究から痒みに迫る 乾癬はなぜ痒い	Visual Dermatology	6(7):Page710-712,2007
<u>小宮根真弓</u> , 常深祐一郎, 佐々木苗胤, 玉置邦彦, 花川靖, 橋本公二, 大河内仁志	表皮細胞における変異 ケラチンK1の作用	角化症研究会記録集	21: 18-20,2007
常深祐一郎, 嶋津苗胤, 服部尚子, 白井明, 佐伯秀久, <u>小宮根真弓</u> , 玉置邦彦	イトラコナゾール400mgパルス療法開始後肝胆道系酵素値上昇頻度の検討 パルス療法開始前肝胆道系酵素値異常の有無による比較	皮膚科の臨床	49(1):45-47,2007
<u>Komine M</u> , Karakawa M, Takekoshi T, Sakurai N, Minatani Y, Mitsui H, Tada Y, Saeki H, Asahina A, Tamaki K	Early inflammatory changes in the "perilesional skin" of psoriatic plaques: is there interaction between dendritic cells and keratinocytes?	J Invest Dermatol	127(8):1915-22,2007
Abe R, Hirayama T, <u>Shimizu H</u>	Disseminated subcutaneous nodules alone as manifestations of Churg-Strauss syndrome	Int J Dermatol	in press
Abe R, Murase S, Nomura Y, Natsuga K, Tateishi Y, Tomita Y, Tsuji-Abe Y, Matsumura T, <u>Shimizu H</u>	A case of acquired perforating dermatosis manifesting as elastosis perforans serpiginosa and perforating folliculitis	Clin Exp Dermatol	in press